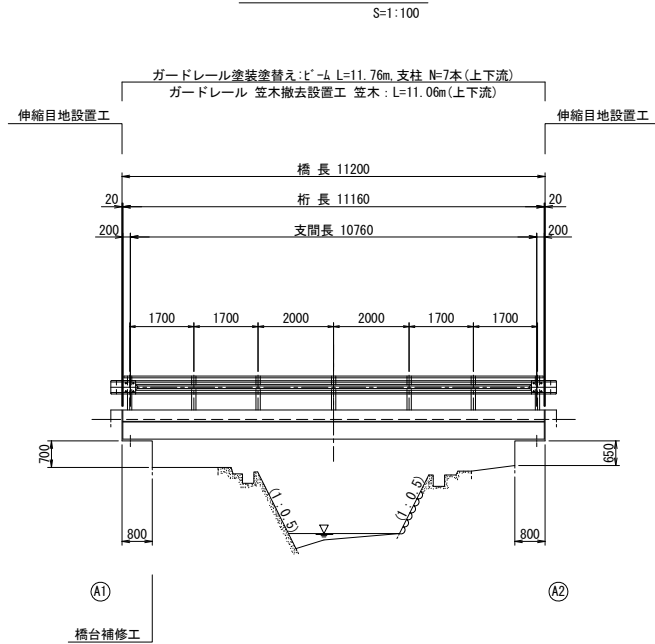
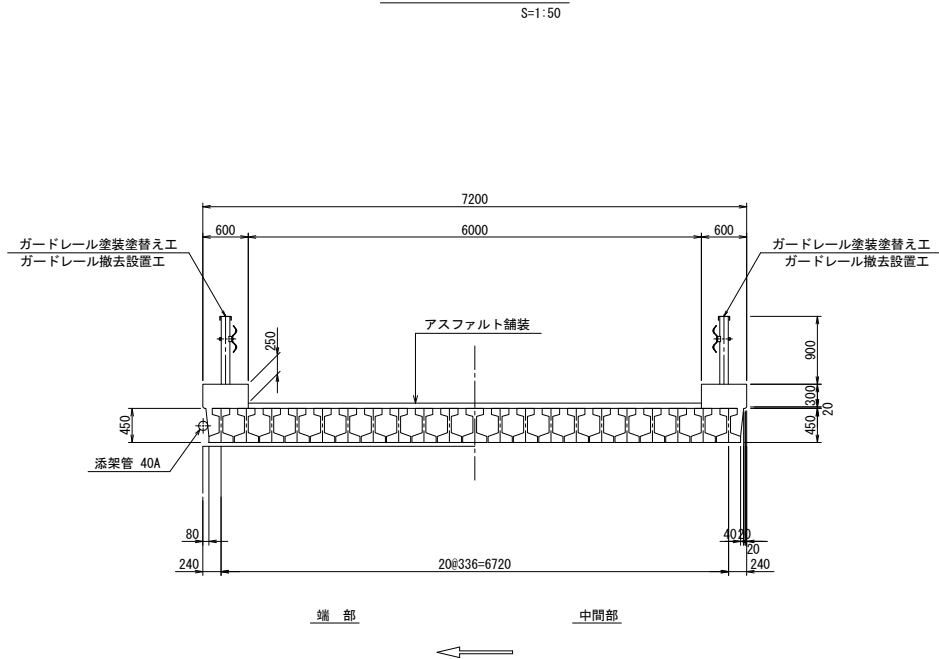


長岡橋 修繕工一般図

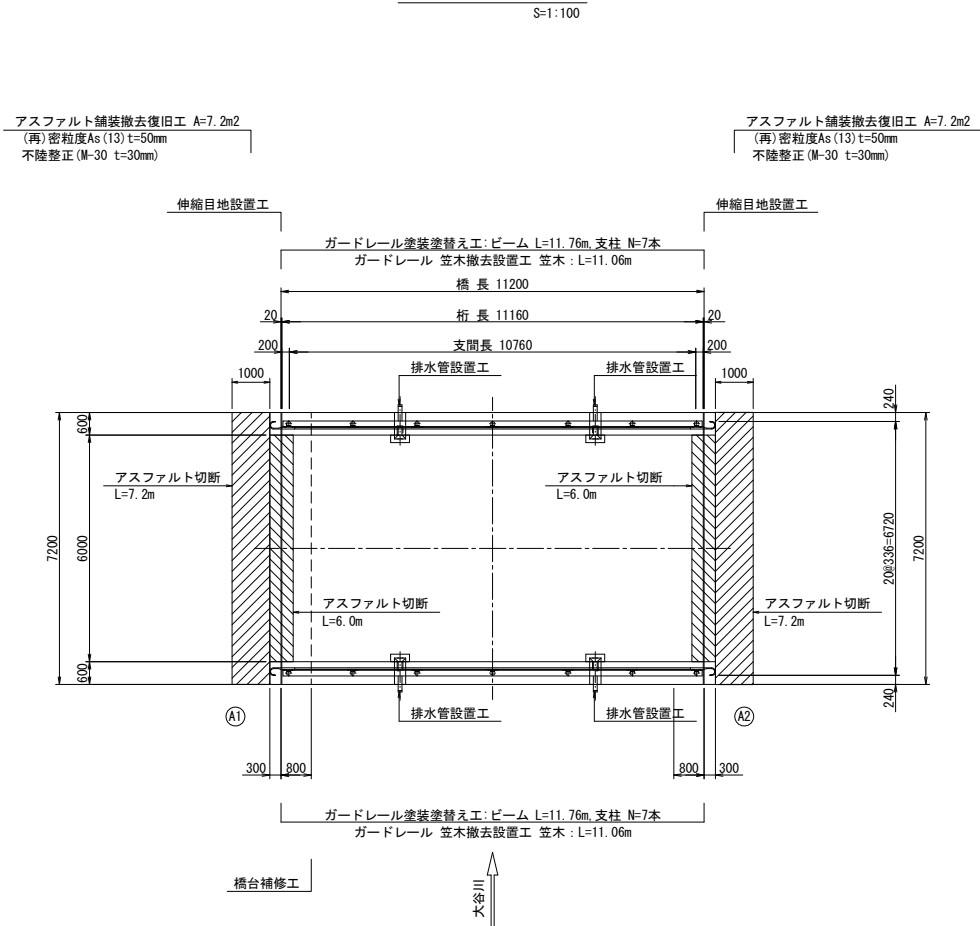
側面図



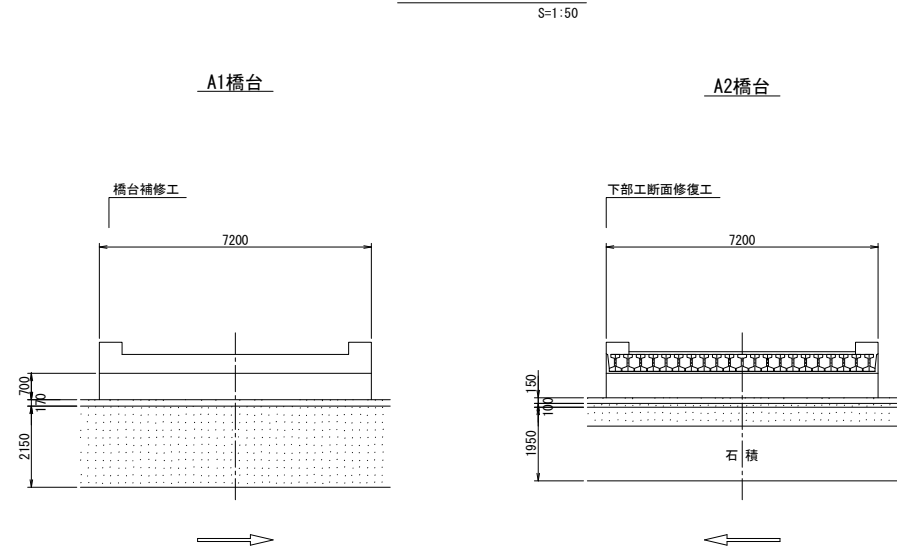
断面図



平面図



下部工



設計条件

上 部 工	橋 格	1等橋 (TL-20)
	上部工形式	単純RC床版桁
	橋 長	11.200m
	桁 長	11.160m
	支 間 長	10.760m
	全 幅 員	7.200m
	有効幅員	6.000m
	斜 角	90° 00'
	床 版	鉄筋コンクリート床版
	舗 装	アスファルト舗装
下 部 工	支 承	ゴム支承
	橋 台	-
基 礎	基 礎	直 接 基 礎
	工	

【長岡橋（市道長岡線・磯部町迫間地内）】

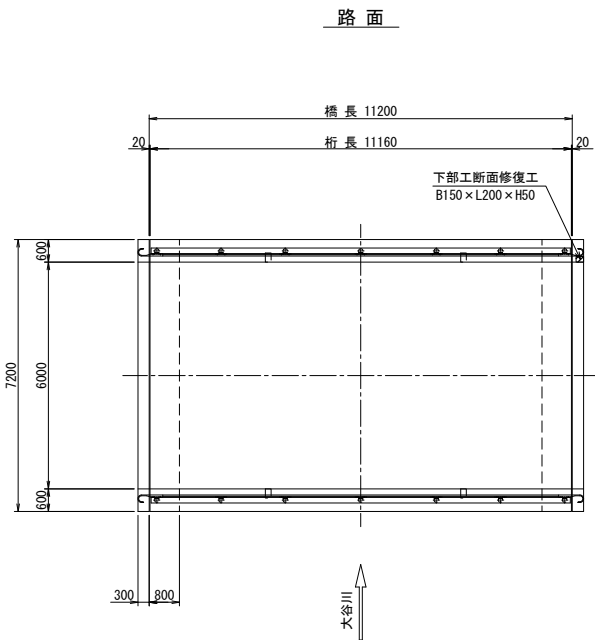
工 事 名	令和元年度 第2A18002号 社会資本整備総合交付金事業 長岡橋 橋梁修繕工事		
図 面 名	修 繕 工 一 般 図		
年 月 日			
尺 度	図 示	図面番号	3 葉之内 1
会 社 名			
事務所名	志 摩 市		

注記 1)：各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。  
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議すること。  
2)：各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

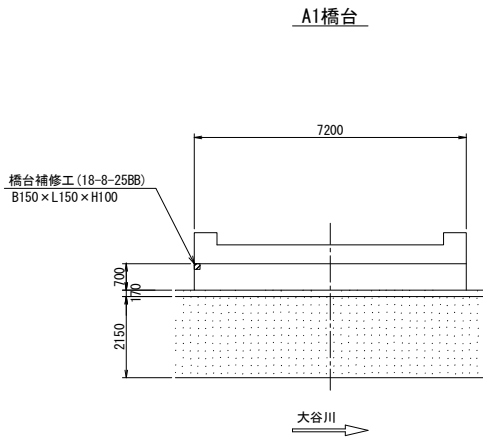
修繕工詳細図(1)

橋台補修工

平面図  
S=1:100

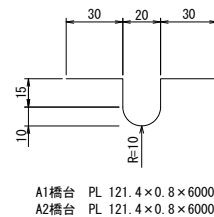


正面図  
S=1:100

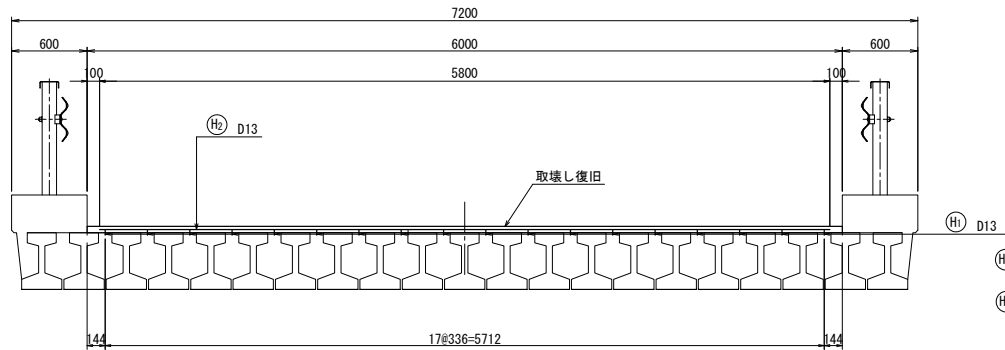


伸縮目地設置工

伸縮目地詳細図  
S=1:2

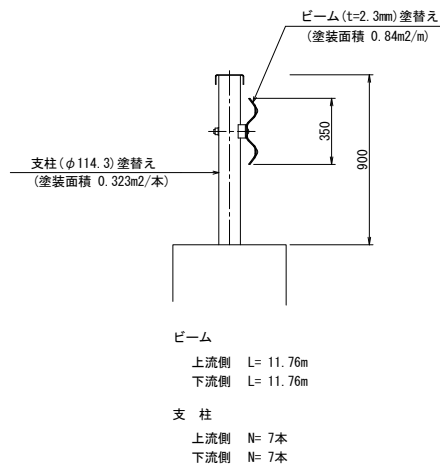


正面図  
S=1:30



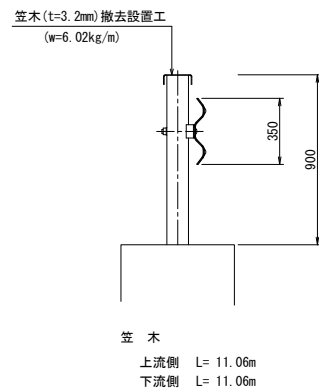
ガードレール塗装塗替え工

S=1:20

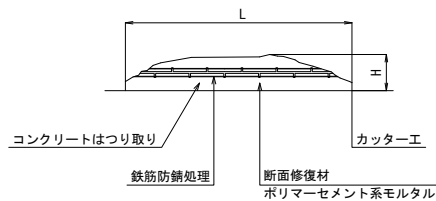


ガードレール撤去設置工

S=1:20

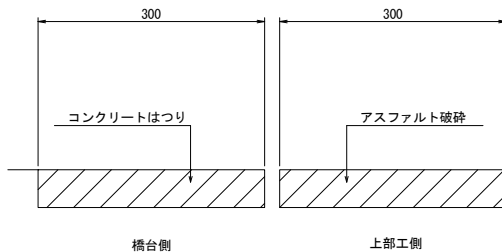


断面修復工詳細図

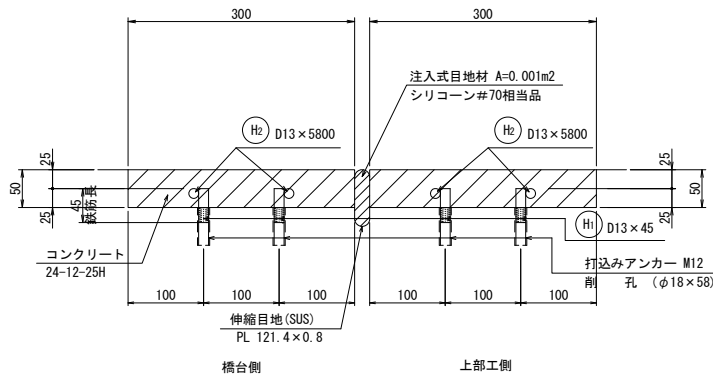


- ※ 断面修復については補修箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。  
なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。  
※ 断面損傷部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。  
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。  
※ 鉄筋防錆処理について  
カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。  
防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

撤去工  
S=1:5



設置工  
S=1:5



- 注記 1)：各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。  
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。  
2)：各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

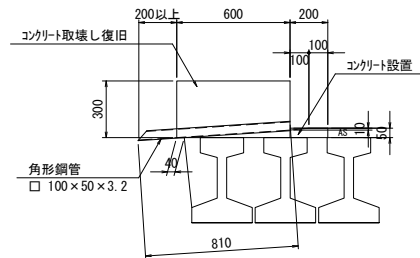
【長岡橋（市道長岡線・磯部町迫間地内）】				
工事名	令和元年度 第2A1種002号 社会資本整備総合交付金事業 長岡橋 橋梁修繕工事			
図面名	修繕工詳細図(1)			
年月日				
尺度	図示	図面番号	3	葉之内 2
会社名				
事務所名	志摩市			

## 修繕工詳細図(2)

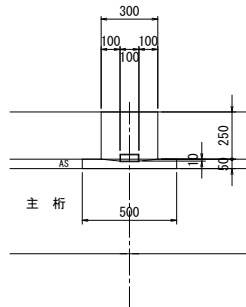
## 排水管設置工

S=1:20

## 断面図



正 面 図



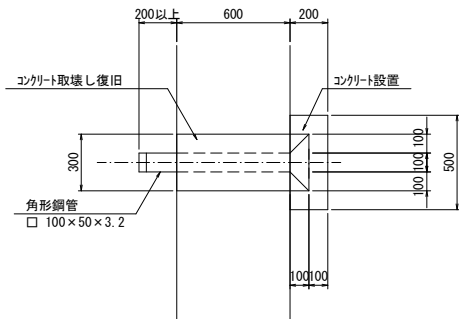
1箇所当り

1-□ 100×50×3.2×810 (STKR400, 亜鉛めっき)

2-RB  $\phi 13 \times 45$  (SR235, 亜鉛めっき)

平面图

S=1:20



※ 1) 排水管の設置にあたっては既設鉄筋を出来るだけ切断しないようにすること。やむを得ず既設鉄筋を切断する場合には補強鉄筋を設置すること。

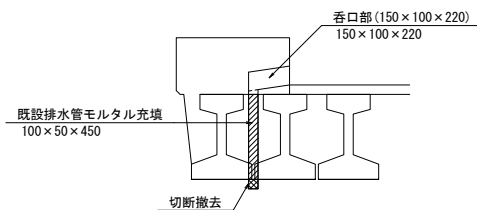
2) 新設排水樹は既設排水管と同じ位置に設置する。

3) コンクリートの規格24-12-25Hとする。

既設排水管充填工

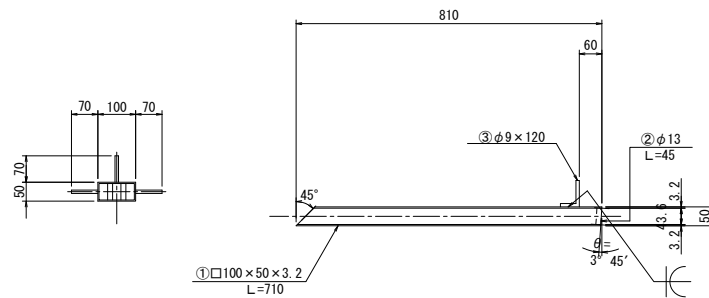
残置する管部分のみ充填

S=1:20



### 排水管新設部詳細図

S= 1:10



## 重量表

番 号	品 名	材 質	数 量	重 量 (kg)	備 考
1	角形鋼管	STKR400	1	5.7	7.01 kg/m
2	鉄 筋	SR235	2	0.1	φ13
3	鉄 筋	SR235	3	0.2	φ9
1 組分合計				6.0 kg	

1 組当り

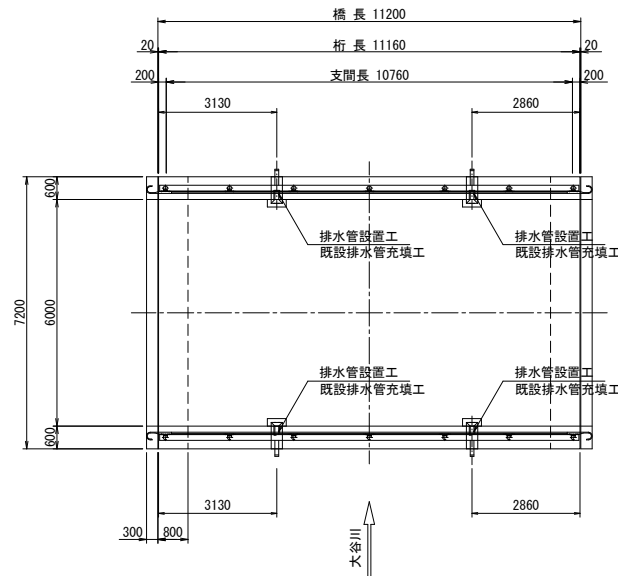
※ 1) 角形鋼管及び鉄筋(φ13)は、亜鉛めっき(HDZ35)処理を施す事。

2)  $\theta$  については確認後決定すること。

平面图

S=1:100

路面



注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。

施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。

2): 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

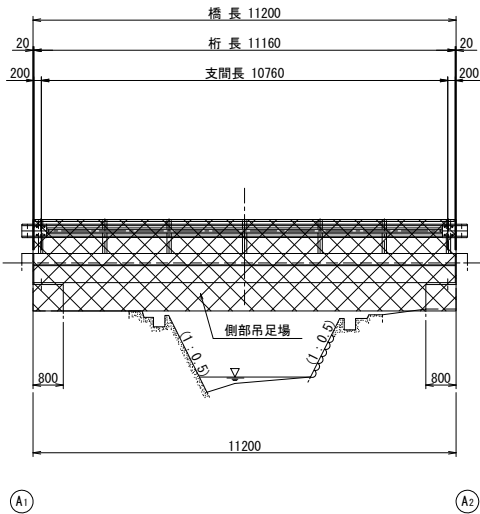
【長岡橋（市道長岡線・磯部町迫間地内）】

工 事 名	令和元年度 第2A1棟002号 社会資本整備総合交付金事業 長岡橋 橋梁修繕工事		
図 面 名	修繕工詳細図(2)		
年 月 日			
尺 度	図 示	図面番号	3 業之内 3
会 社 名			
事務所名	志 摩 市		

仮設足場工 参考図

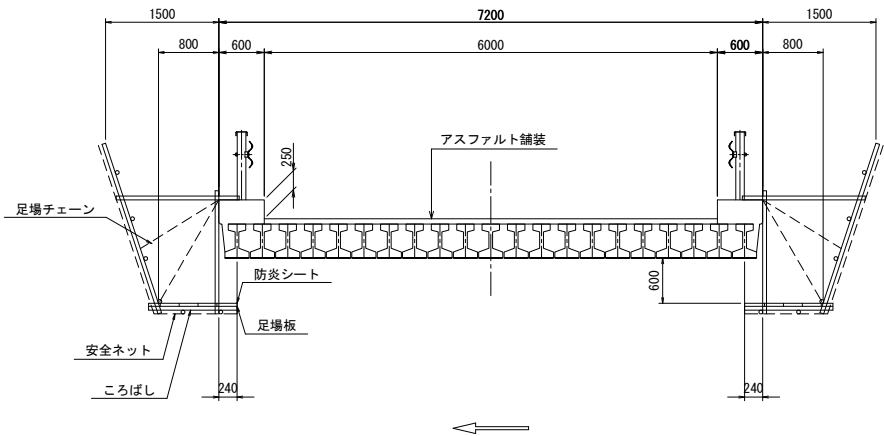
側面図

S=1:100



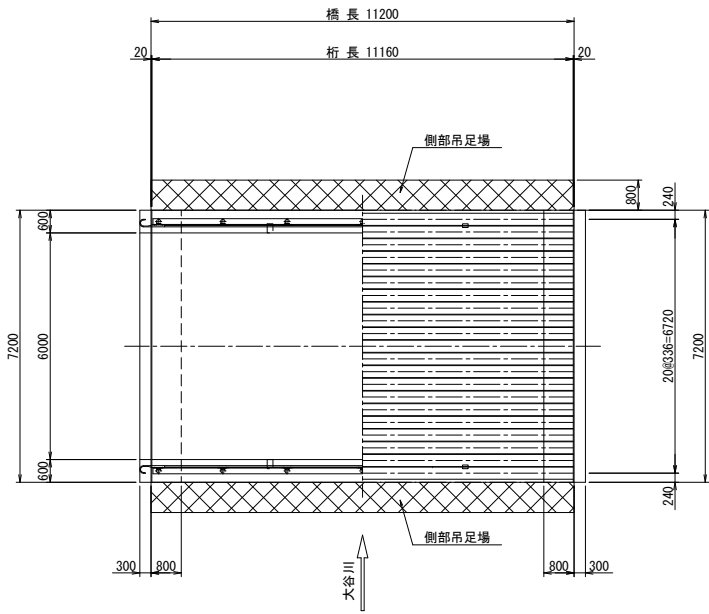
断面図

S=1:50



平面図

S=1:50



【長岡橋（市道長岡線・磯部町迫間地内）】				
工 事 名	令和元年度 第2A18第002号 社会資本整備総合交付金事業 長岡橋 橋梁修繕工事			
図 面 名	仮設足場工 参考図			
年 月 日				
尺 度	図 示	図面番号	- 表之内 -	
会 社 名				
事務所名	志 摩 市			